

令和6年度保健師職能交流・研修会

令和7年3月22日（土）山口県看護研修会館において、令和6年度保健師職能交流・研修会が開催され、38名の参加がありました。

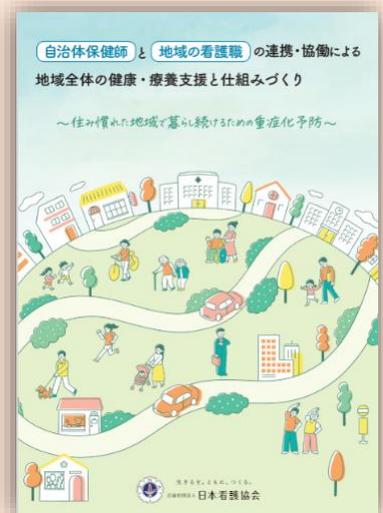
交流・研修会は『2040年に向かってこれからの保健師活動を考えよう』というテーマのもと、山口大学大学院医学系研究科地域看護学分野 教授 牛尾裕子 先生に「2040年を見据えた行政保健師のあり方—受け入れる・変える・見分ける—」というテーマでご講演いただき、その後、グループワークを行いました。

■ 講演：2040年を見据えた行政保健師のあり方—受け入れる・変える・見分ける—

R6.11月発行の日本看護協会保健師関連事業報告書「自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり」や、R6.3月発行「令和5年度地域保健対策・保健師活動ワーキンググループ報告書」はお読みになられていますか？

2040年以降の社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、社会全体で実現するビジョンとして「地域共生社会」という考え方が示され、その実現に向け、「予防」「医療」「生活（暮らし）」の視点から地域の中で健康を支える看護機能強化が求められています。

「地域全体の健康・療養支援における看護機能の強化・拡大」と、「地域の看護職と自治体保健師の連携・協働による地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり」をキーワードに、地域の実態に沿った健康・療養支援体制の構築が全国で実践・展開されるよう、上記報告書内には、全国で先駆的に取り組まれている実践事例が掲載されています！



牛尾先生からは、上記報告書をもとにこれからの保健師活動のあり方について先駆的な事例を例にあげながらお話しいただきました。その中で、

- ・市区町村や圏域といった『区域』の考え方は刷新する。
(周辺市町との協働や他自治体と連携など、課題に応じて区域を設定し地域診断していく)
- ・データに基づき分析・構想し、データを使って関係者を動かす。
- ・これまでつながったことのない機関や人とつながり、共に仕事をする。ステークホルダーとともに、構想を可視化し共有すると同時に、それぞれの立場でのゴールを認め合う。

ことが今後の保健師活動においては重要になると学ぶことができました。

続いて、「来たるべき時代に、信頼され求められる自治体保健師とは？」として、先生の考え・思いをいただきました。

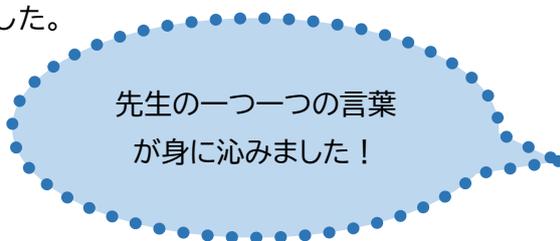
* 法的根拠を誤解していませんか？

法的根拠があるから、決まっているから訪問する、ではなく、なぜ法で決まっているのか、に立ち返って活動しましょう！

同じく、地域診断すること、事業を行うことも、誰の、何のためにするのかを考えられていますか？優先度を把握し、地域保健関係施策の展開及び評価を行うことが、保健師活動の基本です！

- * 自分の中の「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）」を自覚しよう
アンコンシャスバイアスに気づくには「メタ認知」（自分の認知を客観的に捉える）、「内省」が重要といわれている。鳥の目（俯瞰）、虫の目（深く考える）、魚の目（これまでの・これからの流れ）、コウモリの目（逆からみる）で見る・モノを考えることが大切です。
- * ニーバーの祈り（※）から…
 - ※ 変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。
 - 変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。
 - そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。
 保健師としては、祈るだけではなく、自分の置かれている環境とは異なる環境に身を置いてみたり、異なる立場にある人とフラットな意見を交わしてみたりしてみましよう！

牛尾先生のご講演をとおして、多様化する価値観、格差拡大、人材不足、AIへの置き換わりなど2040年に向けて大きく時代が変わっていく中で、保健師は、これまでと同様にしっかりと『軸』を持ちながら、様々な人々との協働の中でそれぞれの立場の価値観等を柔軟に受け入れ、地域の健康のために皆とともに地域を変えて（成長）いける活動ができるように、保健師皆で力を高めていきたいと強く感じました。



■ グループワーク：

2040年問題を見据えた、今後の保健師活動等についてみんなで考えよう！

ちょっと先輩の背中が見えるくらいの年齢幅で、概ね若者、中堅、ベテランのグループに分かれてディスカッションを行いました。講演を聞いての感想や思いを語り合い、保健師として大切にしたいこと、どう活動すべきかについて話し合った後、発表を行いました。

- ★ デジタル化・AI活用は進んでも、地域を見ること、積極的に地域に出向くことを忘れない！
 - ★ 担い手不足・資源不足は避けられないかもしれないが、あるものを活用し、つながりあっていきたい！
 - ★ 保健師が辞めないように、続けられるように、モチベーションを大切にする！
『魅力、誇り、意義』を見つけよう、若い世代に伝えよう！
 - ★ 時代が変われば、人も価値観も変わる。異なる世代・立場・価値観の人ともつながりながら、2040年問題に柔軟に取り組んでいきたい！
- などの意見がありました。

2040年問題を見据えて、今後の保健師活動のヒントを得ることができ、みんなで話す中でモチベーションアップにもつながっているようでした。



皆様のスキルアップや、保健師同士のつながりを強固にするお手伝いができるよう、今後も研修を企画していきますので、皆様の参加をお待ちしています

山口県看護協会保健師職能委員